

## 検査受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望に幅広くお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

### 新規受託項目

#### ● ベプリジル

#### 検査要項

検査項目名	ベプリジル
項目コード No.	3477
検体量	血漿0.5 mL
採血容器	容器番号10:ヘパリン容器 <sup>※1</sup>
検査方法	HPLC
採血時刻	投与後3時間(Peak 値)
基準値	250~800 ng/ml
所要日数	6~12日
実施料・判断料	特定薬剤治療管理料 <sup>※2</sup>
製品名・薬品名	ベプリコール
外部委託先	SRL

※1 血清分離剤入り容器の使用は避けてください。薬物検査において、測定値に影響を及ぼす場合があります

※2 特定薬剤治療管理料を算定できる不整脈用剤とはプロカインアミド、N-アセチルプロカインアミド、ジソピラミド、キニジン、アプリンジン、リドカイン、ピルジカイニド塩酸塩、プロパフェノン、メキシレチン、フレカイニド、シベンズリンコハク酸塩、ピルメノール、アミオダロン、ソタロール塩酸塩及びベプリジル塩酸塩をいいます。

### 受託開始日

#### ● 平成24年8月13日(月) 受付日分より

※裏面をご覧ください

## ●ベプリジル

抗不整脈薬は、有効治療濃度域が狭く、作用機序が複雑で薬理効果には個人差があることから、治療にあたり、血中濃度を測定して計画的な管理を行う「特定薬剤治療管理料」が診療報酬として認められています。本年4月より、この特定薬剤治療管理料に「ベプリジル塩酸塩」が追加されました。

ベプリジル(商品名:ベプリコール)は、複数の心筋細胞のチャネルを抑制する作用をもっており、頻脈性不整脈の治療薬として広く使用されています。

特徴として非線形性の薬物動態\*を示すため、副作用につながる予期せぬ血中濃度の上昇に注意が必要です。

注意すべき重篤な副作用は、QT延長や心室頻拍(torsades de pointesを含む)、間質性肺炎などが報告されています。また、半減期が長く、定常状態に達するまで通常3週間かかるとされていること、代謝酵素の影響などにより薬物体内動態の個人差が大きいなどの特徴が挙げられます。

ベプリジルの有効性を確保しつつ、副作用を回避するために、診察・心電図検査に加えてベプリジル血中濃度測定が、有効な治療管理の情報となります。

★投与量と血中濃度が比例関係にない薬物動態。

## 参考文献

山崎 泰志, 他: 臨床医薬14(1):139~145, 1998.(検査方法参考文献)

鎌倉 令, 他: JPN. J. ELECTROCARDIOLOGY 31(2):150~157, 2011.